令和２年度　学校評価報告書（目標設定・実施結果）

	視点	４年間の目標 （令和２月年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	①生徒の学習意欲を高め、未来を切り拓くことのできる自立した学習者を育てる。そのための教育課程を編成する。 ②生徒の主体性を育むため学校行事・探究活動等を活性化させ、社会に通用する人間を育てる。	①進学に対応できる教育課程を編成する。 ②学校行事・探究活動等にいかに取り組むかを考えさせ、社会に通用する人間を育てる。	①ワーキンググループでの検討を重ねるなど、組織的に対応し、進学に対応できる教育課程を編成する。 ②状況に応じた柔軟な発想力と自ら探究していく力を育成し、生徒の「生きる力」を伸ばしていく。	①進学に対応できる教育課程が編成できたか。 ②柔軟な発想力と探究心をもって、課題に向き合い取り組ませることができたか。活動を通して自分自身の可能性を広げさせることができたか。					
2	生徒指導・支援	①基本的生活習慣の確立を図る。 ②部活動等を通し、自己肯定感を高め、自己理解・多様性の理解につなげる。 ③生徒個々の理解のため組織的な対応をし、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた居心地の良い学校をつくる。	①基本的生活習慣の確立を図り、社会に通用する人材を育む。 ③生徒個々の理解のため組織的な対応をし、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた居心地の良い学校をつくる。	①家庭や地域社会、学校での挨拶の励行を継続的に行い、社会の中での自己の在り方を考えさせる機会を設ける。 ③教育相談体制の充実を図り、個々の生徒に対するきめ細やかな支援を行う。 ③視覚的支援を中心に、すべての生徒が生活しやすい環境を整える。	①様々な場面で社会の中での自己の在り方を考える機会を設け、挨拶の大切さを伝えることができたか。 ③教員間で、組織的に対象生徒への支援を行えたか。 ③ユニバーサルデザインの考えに基づく環境調整が行えたか。					
3	進路指導・支援	①生徒一人ひとりが自己の人生設計のもと、進路を選択できるように組織的に支援する。 ②将来の進路希望実現のために努力する人間を育てる。	①生徒一人ひとりが自己の人生設計のもと、チャレンジ精神を持って進路を選択できるように組織的に支援する。 ②将来の進路希望実現のために努力する人間を育てる。	①社会で活躍する人や、本校の卒業生の情報を生徒に発信し、進路決定に関する意欲を刺激する。 ②スタディーサポートを積極的に活用し、自分の学力を客観的に捉えていくことができるように指導する。	①学校から発信される情報を活用し、主体的に自己の進路を考えることができたか。 ②スタディーサポートの情報によって、自分の学力や意欲、適性を把握することができたか。					

	視点	４年間の目標 （令和２月年度策定）	１年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 （　月　日実施）	総合評価（　月　日実施）	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
4	地域等との協働	①豊かな人間性を育むために、地域等の教育力を活用する。 ②地域に根差し、地域に貢献できるソーシャル・レスポンシビリティの精神を涵養する。	①学校運営協議会等を通じ、地域等とのコミュニケーションを増やし、学校外の教育力をさらに活用する。 ②ボランティアや地域の活動に積極的に参加するとともに生徒・教職員がソーシャル・レスポンシビリティの精神を身に着ける。	①学校運営協議会等を通じ、大学の出前授業、同窓会との協働など、地域との連携を深め、教育力を活用する。 ②ボランティア募集の広報を整理し、最新の情報を広く生徒に周知する。また、教職員への積極的な参加を促し、地域との協働の意識を高く持てるようにする。	①地域の方々の力を活かすための働きかけを行い、実践することができたか。 ②ボランティア募集の広報を整理し、生徒・教職員の参加数が増加したか。					
5	学校管理 学校運営	①信頼される学校づくりのため、様々な状況を外部に情報発信するとともに事故・不祥事防止に努める。 ②学校の安全な環境整備を行い、生徒の学習環境を保障する。	①様々な状況を様々な形式で外部に情報発信する。 ②生徒の学習環境を保障するために環境整備を進め、学校全体の防災意識を高める。	①ホームページ等を利用し、学校生活、学校内外の活動状況、インクルーシブ教育実践推進校の取り組み等を発信する。 ②本校舎・仮設校舎使用時における、環境整備や安全・防災に関する意識の向上を、日常の清掃・美化活動や防災訓練などを通じて全校に展開する。	①ホームページ等により学校内外の活動状況等を速やかに発信することができたか。 ②環境整備や安全・防災に関する活動計画を美化・防災委員の生徒のみならず、全校の生徒の意識向上に結びつけることができたか。					